

2025年3月期上半期の業績に関する説明資料

株式会社コロワイド
(証券コード 7616)

2024年11月

COLOWIDE

- I. 業績ハイライト
- II. 活動トピックス
- III. 25年3月期上半期 決算概要
- IV. 25年3月期 業績予想

注1) 本資料は、すべて連結の数値を使用しております（IFRS）

注2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

Ⅰ. 業績ハイライト

業績ハイライト

2025年3月期上半期 実績

期末店舗数 **2,605店舗** (直営：1,445店舗、FC：1,160店舗)

- レストラン 2,352店舗
- 居酒屋 253店舗

売上収益 **1,321億99百万円**

- 既存店前年比：103.4%

利益 **事業利益 35億71百万円**
EBITDA 78億72百万円



地域別 業績概要

2025年3月期上半期 実績

(単位：百万円)

		2024年3月期 上半期		2025年3月期 上半期	差異
国内	売上収益	102,386	▶	115,649	+13,263
	事業利益	1,467		2,104	+637
北米	売上収益	8,536	▶	8,809	+273
	事業利益	613		467	△146
アジア	売上収益	7,093	▶	7,740	+647
	事業利益	1,161		1,000	△161

(単位：店)

		2024年3月末		2024年9月末	差異
店舗数	国内	2,194	▶	2,219	+25
	北米	77		74	△3
	アジア	312		312	0

II. 活動トピックス

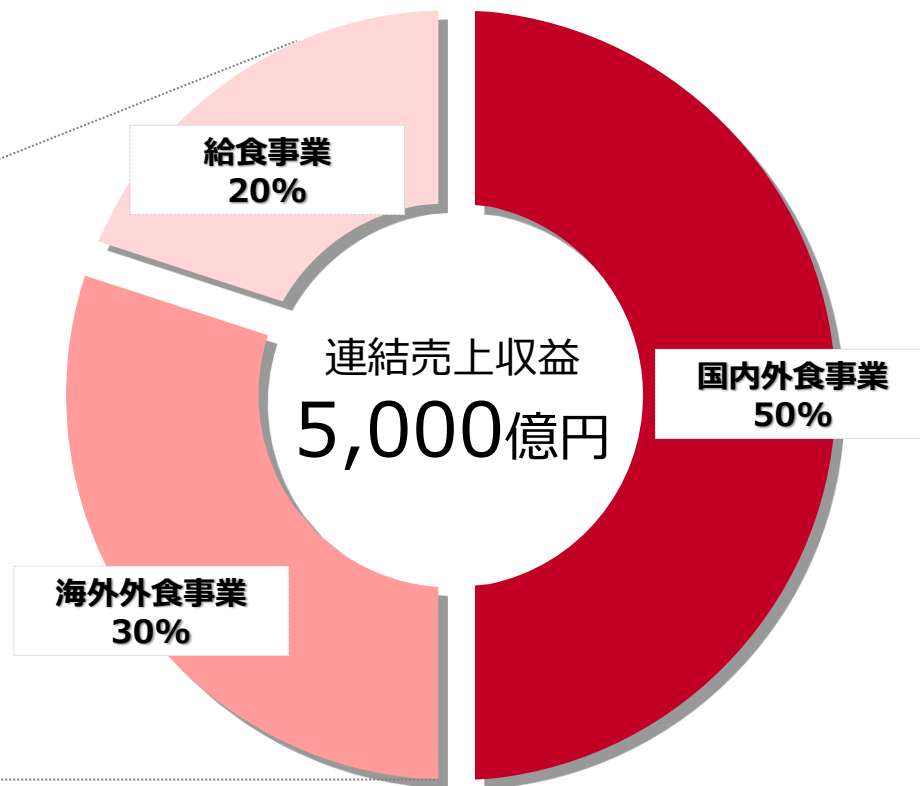
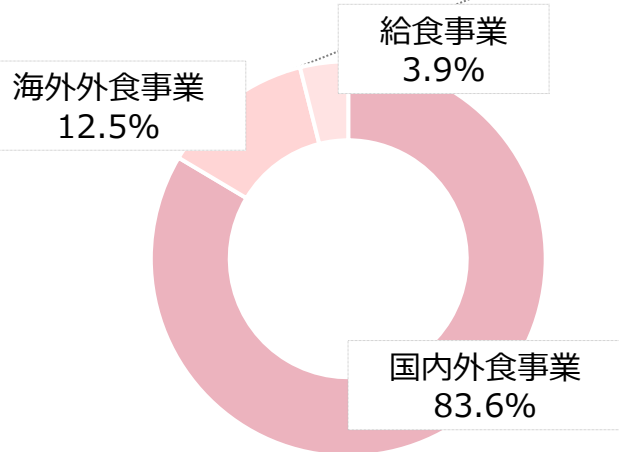
COLOWIDE Vision 2030

国内外食事業を事業基盤としつつも、マーケットの拡大が見込まれる海外外食事業及び給食事業（病院・介護施設）の成長を通じて、2030年3月期に連結売上収益5,000億円の達成を目指す

連結売上収益目標

- 2030年3月期 -
売上収益割合

- 2025年3月期 上半期 -
売上収益割合



中期経営計画の進捗状況

事業別の方針に対しての進捗

国内外食事業

- 引き続きレストラン業態を郊外・ロードサイド・ショッピングセンターへ積極的に出店 (+63店舗)
- 経年劣化店舗のリフレッシュや最新システムへの入れ替えを目的とした改装を実施 (+45店舗)

海外外食事業

- 既存展開エリア（アジア諸国及び北米）における拡大を目指し、新規出店を継続 (+14店舗)
- 経済成長が見込まれる中東への進出として、2024年内にドバイに1号店を出店予定

給食事業

- ヘルスケアを中心とした給食事業を展開する、ソシオフードサービスの全株式を取得
- M&Aにより新たにグループへ参画した会社の調達や物流網の最適化に着手

その他

- M&A待機資金を用途として、新株式発行により資金を調達
- IR活動の一環として統合報告書を発行

成長に向けた資金調達

飛躍的な事業拡大に向け、新株式発行により、M&A待機資金として317億円を調達

- ・M&A候補先のクライテリアとしては、中期経営計画に沿った事業のシェアアップ、新たなライフスタイルとの親和性、既存業態の転換受け皿、グループインフラによるシナジーへの期待、当社グループ参画後の安定運営等を設定

	発行株数	新株発行による収入
公募による新株式発行	1,700万株	-
第三者割当による新株式発行	255万株	-
合計	1,955万株	317億円

- ・ 全額をM&A待機資金とし、2026年9月末日までに当社グループの事業拡大に資するM&Aに充当する予定

国内店舗政策

レストラン業態を郊外・ロードサイドやショッピングセンターへ積極的に出店し、また経年店舗の改装を推進

- ・コロナ禍以降に増店を進めている牛角焼肉食堂は45店舗、とんかつ神楽坂さくらは39店舗まで成長
- ・かっぱ寿司は繁華街への出店を進め、また改装に併せて自動案内システムなどの設備投資を実施

25年3月期 新店・改装等



※店舗数は2024年9月末時点

海外店舗政策

既存展開エリア（アジア諸国及び北米）における出店余地への配置を継続

- ・ ASEANのけん引役であるインドネシアは60店舗まで拡大（牛角48店舗、大戸屋8店舗、かつぱ寿司4店舗）

25年3月期 新店・改装等



中東地域の展開

牛角及びフードコート向けに開発したクイックサービスレストラン GYU BOSS の出店を計画

・牛角及びGYU BOSS：1号店から3号店の物件について、大手モールと交渉中

(GYU BOSS：ドバイ「Mall of the Emirates」2024年内開業予定、アブダビ「Yas Mall」2025年1月開業予定)

展開イメージ



Mall of the Emirates

-ドバイNo.2の規模を誇るモール

Yas Mall

-ヤス島の中心部に位置する
アブダビ最大のモール



- 調達価格の高騰に対応するため、規格変更などを行い、価値と価格のバランスを見直し
- 昨年効果を得たタレントを引き続き起用し、TVCMとフェアを組み合わせた訴求を行うことで、若年層を中心に集客
- ファミリー層や推し活需要を狙ったキャラクターとのコラボレーション企画を実施

(株)レイズ インターナショナル



- ステーキ宮の創業50周年を記念し、長年愛される宮のたれの新商品や、懐かしの味を再現したメニューを提供
- (株)コロワイドMDと商品企画における協働を行い、460グラムというボリュームと収益性を両立させた「超びっくりハンバーグ」を販売するなど、グループシナジーを最大化する活動を推進
- 清らかな湧き水（もしくは伏流水）をかけ流しで使い、無投薬で育てられた陸上養殖の九州サーモンなどを販売

(株)アトム



- 著名タレントに加え、プロ料理人を起用したTVCMを通じ「かつぱ寿司」ブランドの認知拡大・来店促進を実施
- 肉厚で甘みのある「北海道産はたて」や粒立ちが良い「北海道産いくら」を使ったお寿司を一皿100円で提供するなどコストパフォーマンスの高いネタを期間限定で展開 (税込110円)
- きゅうりでシャリを巻いたヘルシー感のある「新発想！ かつぱ軍艦」を販売し、またサイドメニューにおいても老舗や名店とのコラボレーション商品を投入するなど、新たな顧客体験価値を追求

カッパ・クリエイト(株)



- 「鰹の梅はさみ揚げ」や「真アジの大判アジフライ」など、旬の食材にプラスαの価値を加えたメニューを展開
- 「みんなにとっての食堂」のイメージ浸透のため、オリジナルソングを活用したTVCMを放映
- テイクアウトやデリバリー販売の強化による既存店売上の底上げ

(株)大戸屋 ホールディングス



- 年間テーマ「世界のグルメを大人の本格バーガーに」と、期間限定バーガーや相性の良いドリンクを販売
- 「クラシックアボカドチーズバーガー」をジャパン・フード・セレクションにエントリーし、最高評価のグランプリを受賞

(株)フレッシュネス



- 中京地域を中心に給食事業を展開する日本ゼネラルフード株式会社とJV・(株)ハートフルダイニングを4月に設立
- 病院・介護給食を中心とした事業を営むソシオフードサービス株式会社の全株式を6月に取得

給食事業



マーチャンダイジングの取り組み 1/2

調達及び 商品企画

- 調達の効率化への取り組み
 - 原料起点のメニュー開発を推進
 - 原材料の共通化や規格統一を継続
畜産品において新たな産地や部位の導入に向けた検証を実施
 - 農産品をはじめとした同一商品の集約化



自社工場

- 自社工場での製品内製化
 - ステーキ宮で使用するハンバーグの成型を工場生産に切替え、また牛角及びその派生業態で使用する商品を工場から原材料から焼肉用の規格に加工するなどの取り組みを行い、内製化によって店舗におけるオペレーションの工数を低減
- 自社工場製品の内外販を拡大
 - グループ内で使用されている大豆ミートの外販を開始
 - 新たにグループへ参画した給食会社において、自社工場で製造した完全調理食の納品を開始



マーチャндаイジングの取り組み 2/2

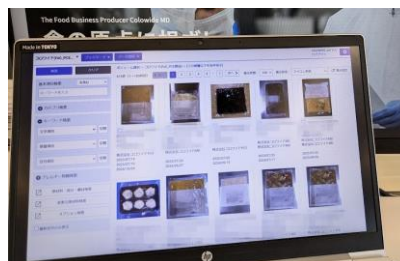
物流整備

- 調達及び物流網の最適化
 - 新たにグループへ参画した会社における発注先の統一やグループインフラを活用した物流網の最適化を推進
- 在庫管理の効率化
 - リードロジスティクスパートナー協定を結ぶヤマト運輸(株)との取り組みの一環として、セントラルキッチン製品の在庫をヤマト運輸(株)のロジスティクスセンターへ集約



システム

- 工場システムの整備
 - 自社工場における生産管理システムの統合により、購買・生産業務の効率化などを実現



- 株式会社コロワイドMD
- 株式会社ジャパンフレッシュ
- 株式会社エムワイフーズ



サステナビリティ推進 1/2

地球環境への貢献

- ロス削減とリサイクル
 - 国産SAF*の原料として店舗の廃食用油の供出を開始

*温室効果ガスを大幅に削減できると期待されている航空機向けバイオ燃料



- 持続的な食材調達
 - かつぱ寿司において、完全養殖である「つきみいくら®」を販売

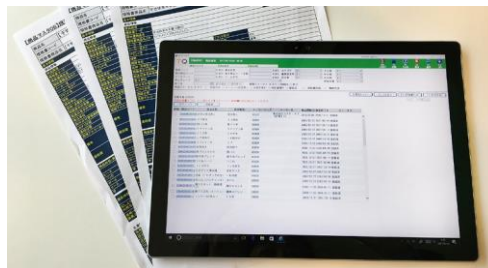


食の安全・安心の提供

- 安全管理レベルの向上
 - 事業所給食拠点における食品安全管理レベル向上のため、モデルづくりとして、「横浜銀行本店食堂」において「JFSフードサービス規格」の認証を取得



- アレルゲン表示
 - 特定原材料8品目に加え、推奨20品目を加えた28品目を全ての業態でWeb開示する取り組みを順次開始



働く仲間の成長と多様性の尊重

- 活躍機会の提供
 - 2026年度までの女性社員比率の目標（30%）を2024年6月末時点で達成（31.1%）



- 障がい者雇用の促進
 - ココットにて、横須賀事務所勤務社員の保護者との懇談会を開催するなど、雇用を促進する取り組みを実施



サステナビリティ推進 2/2

地域・社会への貢献

■ 食育プロジェクト

- お子様メニューのおもちゃを食育に繋がるペーパークラフトに切り替え、大塚製菓(株)とのコラボレーションによる特別コンテンツを公式アプリで配信



■ 産学連携

- 大戸屋で神奈川県東市ヶ尾小学校の皆さんが考案した商品を販売するなどのコラボレーションを継続的に実施



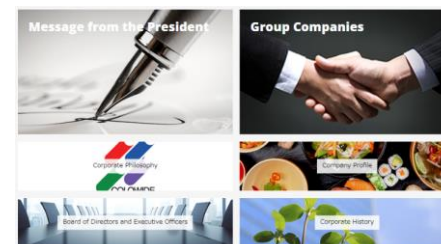
経営基盤の強化

■ 英文開示の拡充

- 2025年4月から東証プライム市場において決算情報や適時開示情報の英文開示が義務化となることに先立ち、英文開示情報を拡充

[英文開示文書]

- ・決算短信・適時開示
- ・業績に関する説明資料
- ・有価証券報告書
- ・コーポレート・ガバナンス報告書
- ・統合報告書 等

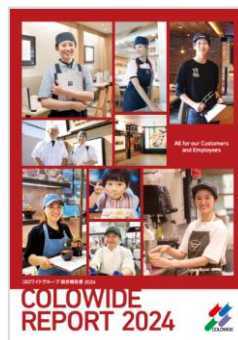


- コロワイド英語サイト -

https://www.colowide.co.jp/en_us/

■ 統合報告書 (日・英)

- 国内外の様々なステークホルダーの皆様に、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをより深くご理解頂くことを目的として発行



III. 25年3月期上半期 決算概要

業態別の店舗数

2025年3月期上半期 実績

業態名		主要ブランド	直営店舗数 (全体に占める割合)		直営店 + FC店舗数 (全体に占める割合)	
レストラン	焼肉 しゃぶしゃぶ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 牛角 ■ カルビ大将 ■ しゃぶしゃぶ温野菜 	397店舗 (27.5%)	84.9%	1,155店舗 (44.3%)	90.3%
	定食	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大戸屋 	151店舗 (10.4%)		414店舗 (15.9%)	
	回転寿司	<ul style="list-style-type: none"> ■ かつば寿司 ■ にぎりの徳兵衛 	342店舗 (23.7%)		349店舗 (13.4%)	
	ステーキ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ステーキ 宮 	114店舗 (7.9%)		114店舗 (4.4%)	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ フレッシュネスバーガー 他 	223店舗 (15.4%)		320店舗 (12.3%)	
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手作り居酒屋 甘太郎 ■ 北の味紀行と地酒 北海道 ■ 居酒屋 土間土間 他 	218店舗 15.1%	253店舗 9.7%			
			合計 1,445店舗		合計 2,605店舗	

※店舗数は2024年9月末時点

出退店及び店舗改装の状況

セグメント毎の状況

(単位：店)

会社名	2024年 3月末	出店	グループ間			2024年 9月末	業態転換	店舗改装
			閉店	譲受・譲渡	新規連結			
レイズインターナショナル 国内	248	31	11	△2	266	1	2	
アトム	324	0	6		318	2	16	
直 営 カッパ・クリエイト	296	3	6		293		20	
大戸屋 国内	149	3	4		148			
フレッシュネス	64	5	1	1	69		1	
その他	180	4	9	1	35	211	1	6
国内	1,261	46	37		35	1,305	4	45
海外	142	4	6			140		2
直営店計	1,403	50	43	0	35	1,445	4	47
F 国内	933	17	36			914	2	
C 海外	247	10	11			246		
FC店計	1,180	27	47	0	0	1,160	2	
合計	2,583	77	90	0	35	2,605	6	47

※店舗数は2024年9月末時点 ※店舗改装については大型改装のみ

連結貸借対照表

2025年3月期上半期 実績

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年3月末			2024年9月末（上半期）			
	金額	金額	増減額	金額	金額	増減額	
流動資産	67,275	86,125	18,850	流動負債	94,765	98,430	3,665
現預金	46,307	64,599	18,292	営業債務及び その他債務	23,999	25,776	1,777
営業債権及び その他の債権	13,158	12,953	△205	短期借入	39,098	43,324	4,226
棚卸資産	3,932	4,342	410	短期リース負債	14,826	13,224	△1,602
その他	3,878	4,231	353	その他	16,842	16,105	△737
非流動資産	197,840	217,380	19,540	非流動負債	116,216	118,907	2,691
有形固定資産	48,100	54,503	6,403	長期借入	82,893	82,137	△756
使用権資産	23,253	24,281	1,028	長期リース負債	18,388	20,329	1,941
のれん	82,534	94,656	12,122	その他	14,935	16,441	1,506
その他金融資産	20,719	21,012	293	負債合計	210,981	217,336	6,355
その他	23,234	22,929	△305	資本合計	54,135	86,169	32,034
資産合計	265,115	303,506	38,391	負債・資本合計	265,115	303,506	38,391

◆連結資本合計比率：36.1%（資本合計／（資産合計－現預金）） ◆親会社所有者帰属持分比率：25.2%

連結損益計算書

2025年3月期上半期 実績

(単位：百万円)

	2024年3月期 上半期		2025年3月期 上半期		
	金額	売上構成比	金額	売上構成比	前年比
売上収益	118,015	100.0%	132,199	100.0%	112.0%
売上総利益	67,719	57.4%	76,463	57.8%	112.9%
販売費及び一般管理費	64,477	54.6%	72,892	55.1%	113.1%
事業利益*	3,241	2.7%	3,571	2.7%	110.2%
その他営業収益	1,620	1.4%	428	0.3%	26.4%
その他営業費用	679	0.6%	631	0.5%	93.0%
I F R S 営業利益	4,182	3.5%	3,367	2.5%	80.5%
中間利益	2,842	2.4%	1,264	1.0%	44.5%
親会社に帰属する 中間利益	2,310	2.0%	385	0.3%	16.7%

※前期上半期：為替差益1,269百万円

※当期上半期：為替差損561百万円

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

主要子会社別 業績概要

報告セグメントの状況 (IFRS)

(単位：百万円)

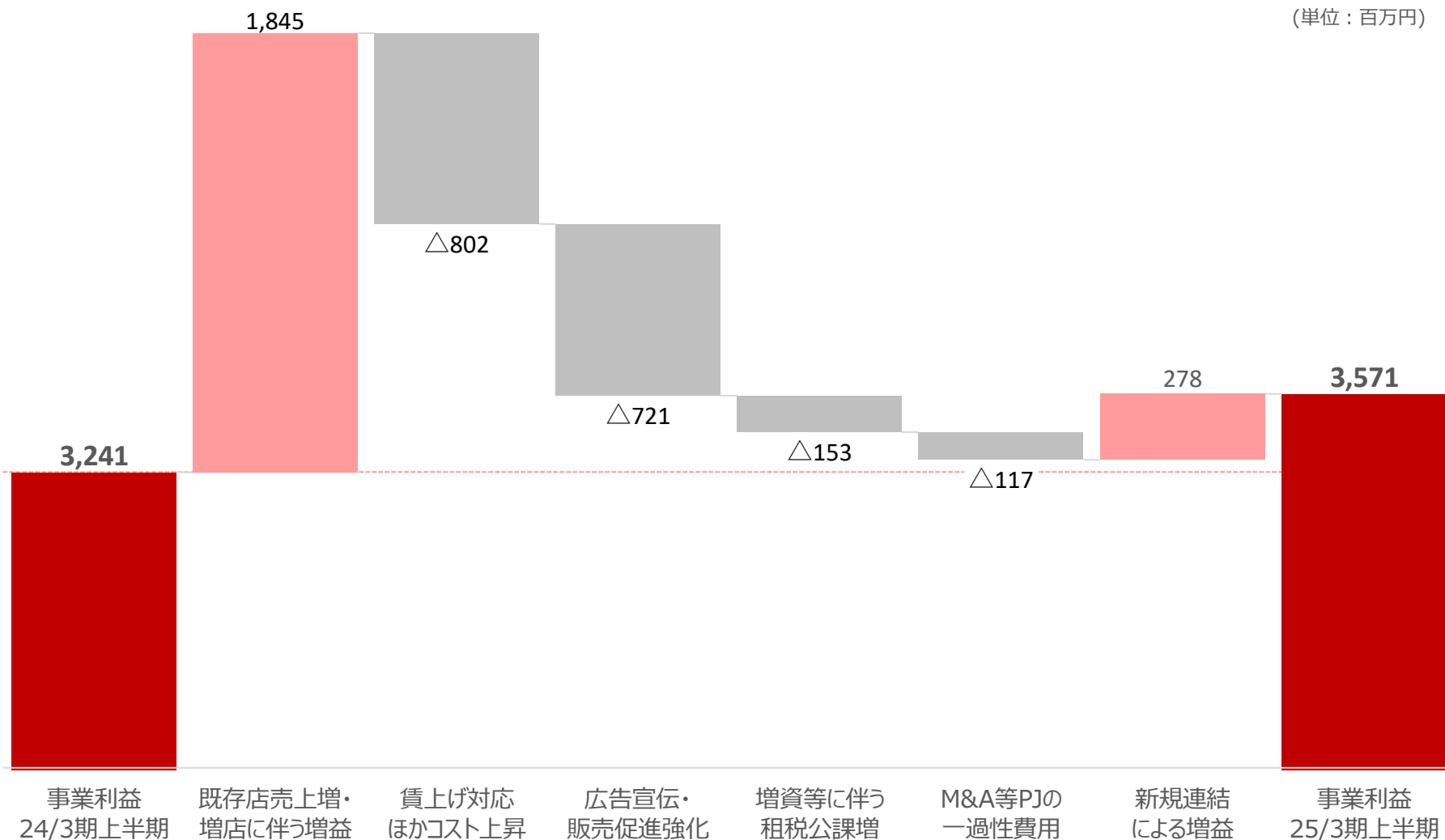
	レイズ インターナショナル 連結		アトム		カップ・クリエイト 連結		大戸屋 連結		コロワイドMD	
	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比
売上収益	46,036	-	18,204	-	36,965	-	15,062	-	46,717	-
売上総利益	24,271	52.7%	11,755	64.6%	19,245	52.1%	9,138	60.7%	2,656	5.7%
販売費及び 一般管理費	21,375	46.4%	11,577	63.6%	18,704	50.6%	8,393	55.7%	767	1.6%
事業利益*	2,896	6.3%	178	1.0%	541	1.5%	745	4.9%	1,889	4.0%
その他営業収益	169	0.4%	93	0.5%	167	0.5%	41	0.3%	128	0.3%
その他営業費用	225	0.5%	90	0.5%	122	0.3%	30	0.2%	371	0.8%
I F R S 営業利益	2,840	6.2%	181	1.0%	586	1.6%	756	5.0%	1,646	3.5%

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

事業利益の変動要因

前年同期比較における増減 (IFRS)

(単位: 百万円)



IV. 25年3月期 業績予想

連結業績予想

2025年3月期 通期見通し

(単位：百万円)

	2025年3月期 業績予想		
	金額	売上構成比	前年比
売上収益	263,443	-	109.2%
売上総利益	153,523	58.3%	110.2%
販売費及び一般管理費	142,518	54.1%	109.1%
事業利益*	11,005	4.2%	126.3%
その他営業収益	924	0.4%	43.1%
その他営業費用	2,055	0.8%	55.0%
IFRS営業利益	9,875	3.7%	138.8%
当期利益	3,877	1.5%	95.4%
親会社に帰属する当期利益	2,034	0.8%	70.0%

※為替レート=140円/ドルにて想定 ドル建て債権の評価損として858百万円を見込む

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、コロワイドグループから許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。

本文記載の社名・製品名・ロゴはコロワイドグループ各社の商標または登録商標です。